

景気動向調査結果

(令和2年10月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 2 年 10 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 2 年 11 月に面接等によるヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、450 社（製造業 243 社（うちヒアリング 64 社）、非製造業 207 社）で、回答率は 64.3 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部産業立地・経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2961）

令和2年10月の景気動向

1 総論

長野県経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き厳しい状況となっています。

製造業の業況は、電機・電子など一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症による国内外の影響などを受けて低迷しており、9期連続のマイナス水準となりました。

非製造業の業況は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しさが残り、マイナス水準となっているものの、持ち直しの動きがみられ、2期連続の改善となりました。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（令和元年10月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は $\Delta 53.7$ となり、前回調査時（令和2年7月）の $\Delta 73.0$ から19.3ポイント改善したものの、9期連続のマイナス水準となりました。

3か月前（令和2年7月）と比較したD Iは12.5となり、前回調査時の $\Delta 49.8$ より62.3ポイント改善し、9期ぶりのプラス水準となりました。

また、3か月後（令和3年1月）の予想では、D Iは $\Delta 5.1$ となり、10期連続のマイナス水準となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコンは、テレワーク向け需要の増加などから、受注、生産に回復に向けた動きがみられます。プリンターは、国内外における需要の増加により、受注に持ち直しの動きがみられます。半導体関連は、情報通信関連向けで受注、生産が堅調に推移しているほか、産業用途や自動車関連向けで、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。抵抗器・コンデンサ等は、情報通信関連向けで回復に向けた動きがみられるほか、自動車関連で受注、生産に持ち直しの動きがみられます。

イ 一般機械では、工作機械は、半導体関連向けで回復に向けた動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症などの影響から、総じて、受注、生産が弱含んでいます。建設機械は、国内向けでは、公共工事向けなどで持ち直しの動きがみられるものの、受注、生産が弱含んでいます。北米や欧州など海外向けでは、一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により受注、生産が弱含んでいます。

ウ 精密では、時計は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外の需要の低迷などから、受注、生産が減少しています。レンズは、自動車関連向けで持ち直しの動きがみられるものの、プロジェクター向けなどで、需要の減少から受注、生産に弱さがみられます。計器では、圧力計は、半導体関連向けで回復に向けた動きがみられるものの、産業機械向けで、受注、生産が弱含んでいます。LPガスメーターは、取替需要などにより受注、生産が堅調に推移しています。

エ 自動車部品では、EV向けの部品などで持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少から、受注、生産が弱含んでいます。

オ 食料品では、味そは、外出機会の減少による家庭用需要の増加や季節的要因により、受注、生産が増加しています。酒類は、清酒やワインは、内食傾向により家庭用需要の増加がみられるものの、業務用需要の減少から、受注、生産が弱含んでいます。飲料は、外出機会の減少や季節的要因によりペットボトル飲料を中心に受注、生産が減少しています。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が18.2%と前回(11.6%)より増加し、「減少」とする企業が62.0%と前回(76.3%)より減少した結果、D Iは前回(△64.7)より改善し、△43.8となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が38.0%と前回(15.7%)より大幅に増加し、「減少」とする企業が20.7%と前回(56.6%)より大幅に減少した結果、D Iは前回(△40.9)より大幅に改善し、17.3となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が17.3%、「減少」とする企業が23.2%となった結果、D Iは△5.9となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が15.9%と前回(14.6%)より増加し、「減少」とする企業が64.4%と前回(71.7%)より減少した結果、D Iは前回(△57.1)より改善し、△48.5となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が38.9%と前回(15.5%)より大幅に増加し、「減少」とする企業が25.1%と前回(58.2%)より大幅に減少した結果、D Iは前回(△42.7)より大幅に改善し、13.8となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が17.9%、「減少」とする企業が23.5%となった結果、D Iは△5.6となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が7.9%と前回(5.4%)より増加し、「安い」とする企業が17.4%と前回(17.4%)と同じとなった結果、D Iは前回(△12.0)より改善し、△9.5となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が3.7%と前回(2.5%)より増加し、「安い」とする企業が5.0%と前回(7.9%)より減少した結果、D Iは前回(△5.4)より改善し、△1.3となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が2.1%、「安い」とする企業が5.1%となった結果、D Iは△3.0となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が7.6%と前回(8.9%)より減少し、「苦しい」とする企業が31.4%と前回(34.6%)より減少した結果、D Iは前回(△25.7)より改善し、△23.8となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が8.9%と前回(8.1%)よりやや増加し、「苦しい」とする企業が14.0%と前回(21.7%)より減少した結果、D Iは前回(△13.6)より改善し、△5.1となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が5.2%、「苦しい」とする企業が20.3%となった結果、D Iは△15.1となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が15.3%と前回(11.5%)より増加し、「低下」とする企業が49.6%と前回(58.4%)より減少した結果、D Iは前回(△46.9)より改善し、△34.3となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が20.3%と前回(9.5%)より増加し、「低下」とする企業が21.2%と前回(44.2%)より大幅に減少した結果、D Iは前回(△34.7)より大幅に改善し、△0.9となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が10.1%、「低下」とする企業が22.7%となった結果、D Iは△12.6となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコンは、テレワーク向け需要の増加などから、受注、生産に回復に向けた動きがみられます。

プリンターは、国内外における需要の増加により、受注に持ち直しの動きがみられます。

(半導体関連・プリント基板) 情報通信関連向けで、受注、生産が堅調に推移しているほか、産業用途や自動車関連向けで、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。

(抵抗器・コンデンサ等) 情報通信関連向けで回復に向けた動きがみられるほか、自動車関連向けで、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。

(モーター等) 医療機器向けで回復に向けた動きがみられます。航空機向けは、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少により受注、生産が弱含んでいます。

(その他) カーナビゲーションは、国内需要の増加などにより、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。電源関連は、国内需要の減少により、低調に推移しています。

一般機械

(工作機械) 半導体関連向けで回復に向けた動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症などの影響から、総じて、受注、生産が弱含んでいます。

(金型) 自動車関連向けの一部に持ち直しの動きがみられるものの、国内需要の減少などにより受注、生産が弱含んでいます。

(建設機械) 国内向けでは、公共工事向けなどで持ち直しの動きがみられるものの、受注、生産が弱含んでいます。北米や欧州など海外向けでは、一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により受注、生産が弱含んでいます。

(農業用機械等) 一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症による国内需要の減少などから、受注、生産が弱含んでいます。

<p>精 密 (時 計)</p>	<p>腕時計は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外の需要の低迷などから、受注、生産が減少しています。</p>
<p>(レ ン ズ)</p>	<p>自動車関連向けで持ち直しの動きがみられるものの、プロジェクター向けなどで、需要の減少から受注、生産に弱さがみられます。</p>
<p>(計 器)</p>	<p>圧力計は、半導体関連向けで回復に向けた動きがみられるものの、産業機械向けで、受注、生産が弱含んでいます。LPガスメーターは、取替需要などにより受注、生産が堅調に推移しています。</p>
<p>自 動 車 部 品</p>	<p>EV向けの部品などで持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少から、受注、生産が弱含んでいます。</p>
<p>食 料 品 (味 そ)</p>	<p>外出機会の減少による家庭用需要の増加や季節的要因により、受注、生産が増加しています。</p>
<p>(酒 類)</p>	<p>清酒やワインは、内食傾向により家庭用需要の増加がみられるものの、業務用需要の減少から、受注、生産が弱含んでいます。</p>
<p>(飲 料)</p>	<p>外出機会の減少や季節的要因によりペットボトル飲料を中心に受注、生産が減少しています。</p>
<p>繊 維 ・ 衣 服</p>	<p>季節的要因により冬物商品の需要が伸びているものの、外出機会の減少により受注、生産が弱含んでいます。</p>
<p>紙 ・ パルプ</p>	<p>ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産が増加しています。</p>
<p>印 刷</p>	<p>印刷・製本の需要の低迷などにより、引き続き低調に推移しています。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>プラスチック成型部品は、産業用途や自動車関連向けで、一部に持ち直しの動きがみられるものの、受注、生産が弱含んでいます。</p>

3 非製造業

業界の業況

前年同期（令和元年10月）と比較したD Iは $\Delta 31.6$ となり、前回調査時（令和2年7月）の $\Delta 60.7$ より29.1ポイント改善し、2期連続の改善となりました。

3か月前（令和2年7月）と比較したD Iは8.3となり、前回調査時（令和2年7月）の $\Delta 10.1$ より18.4ポイント改善しました。

また、3か月後（令和3年1月）の予想では、D Iは $\Delta 35.8$ となりました。

〔各業種の動き〕

ア 建設業

建設業では、民間工事は新型コロナウイルス感染症の影響により設備投資需要などで慎重な動きがみられたものの、公共工事は災害復旧に伴う土木工事が継続されるなど安定した工事量が続いたことから、販売価格D I、収益率D Iが改善し、業況D Iは $\Delta 3.1$ と前回（ $\Delta 13.8$ ）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 29.0$ です。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、新型コロナウイルス感染症の影響により新規のシステム投資などは慎重な動きがみられたものの、ソフトウェア関連などを中心に需要が堅調だったことから、売上高D I、収益率D Iが改善し、業況D Iは $\Delta 10.0$ と前回（ $\Delta 30.0$ ）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 30.0$ です。

ウ 小売業

小売業では、新型コロナウイルス感染症に伴う外出機会の減少による家庭用品の需要増加などにより、食料品の売上げが堅調だったほか、前年の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減や台風19号による被害などで消費が弱まったこともあり、客数D I、売上高D Iが改善し、業況D Iは $\Delta 31.7$ と前回（ $\Delta 58.5$ ）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 37.9$ です。

エ 卸売業

卸売業では、新型コロナウイルス感染症の影響により、設備投資需要などで慎重な動きが続き、売上げは低調だったものの、感染防止に伴う衛生用品などの日用雑貨は売上げが堅調だったことから、客数D I、売上高D Iが改善し、業況D Iは $\Delta 47.7$ と前回（ $\Delta 86.4$ ）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 14.3$ です。

オ 飲食業

飲食業では、新型コロナウイルス感染症の影響により外食需要は低調であるものの、テイクアウト利用や需要喚起施策などの効果による観光客の増加がみられたことから、客数D I、売上高D Iが改善し、業況D Iは $\Delta 52.4$ と前回（ $\Delta 92.4$ ）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 31.6$ です。

カ 宿泊業

宿泊業では、新型コロナウイルス感染症の影響により観光需要はインバウンド消費の激減や団体客の減少で低調であるものの、GoToトラベルなどの効果で客数の増加や客室単価の上昇がみられたことから、客数D I、販売価格D Iが改善し、業況D Iは $\Delta 53.3$ と前回（ $\Delta 93.3$ ）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 78.6$ です。

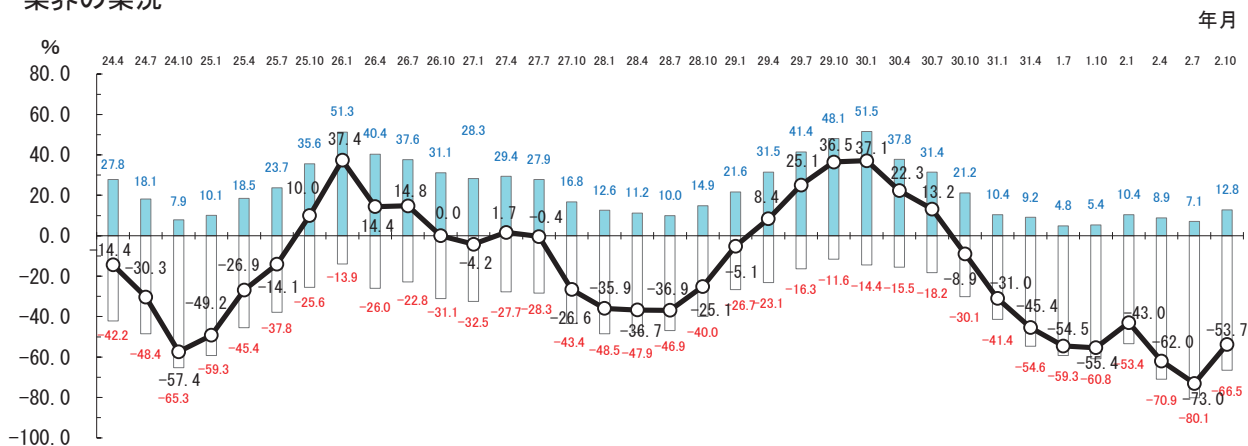
景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

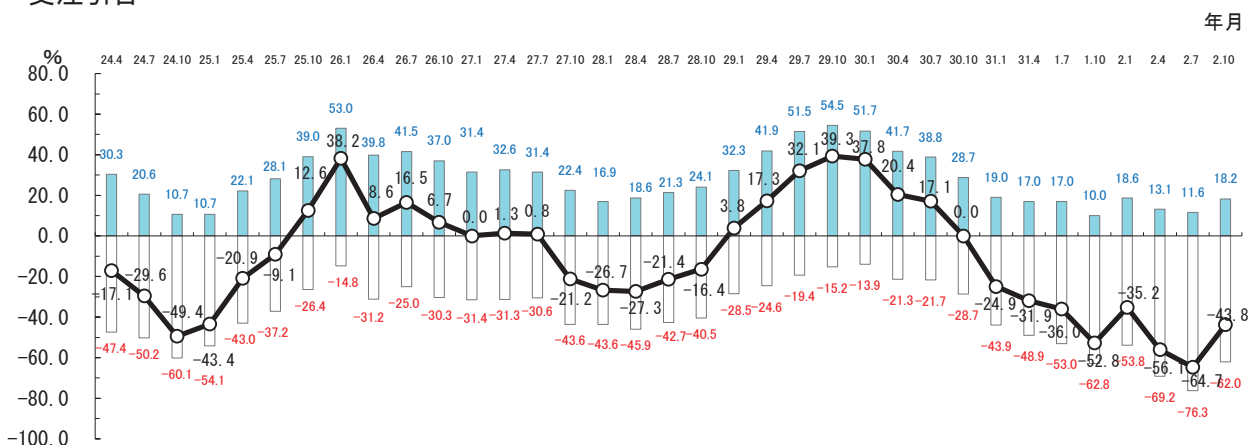
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

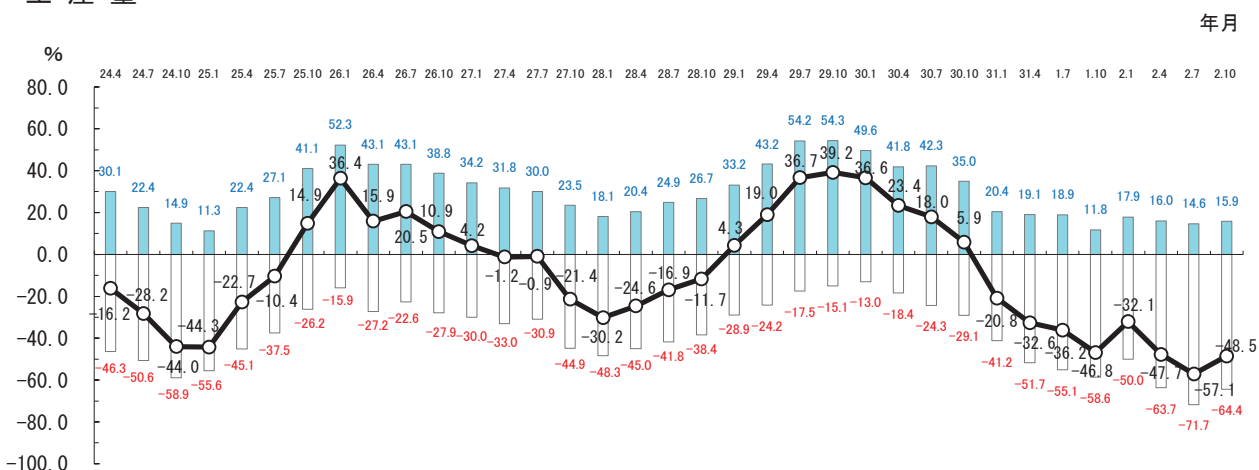
業界の業況



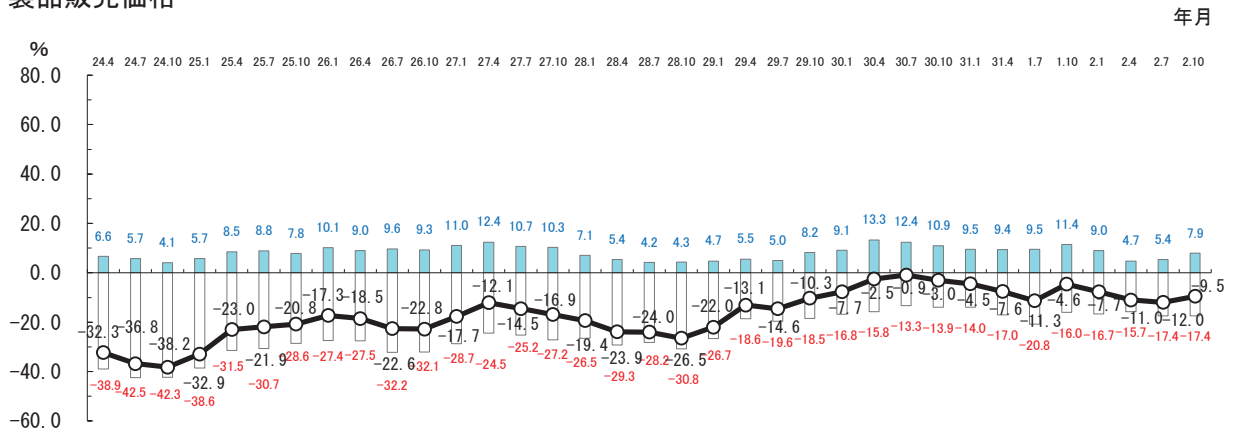
受注引合



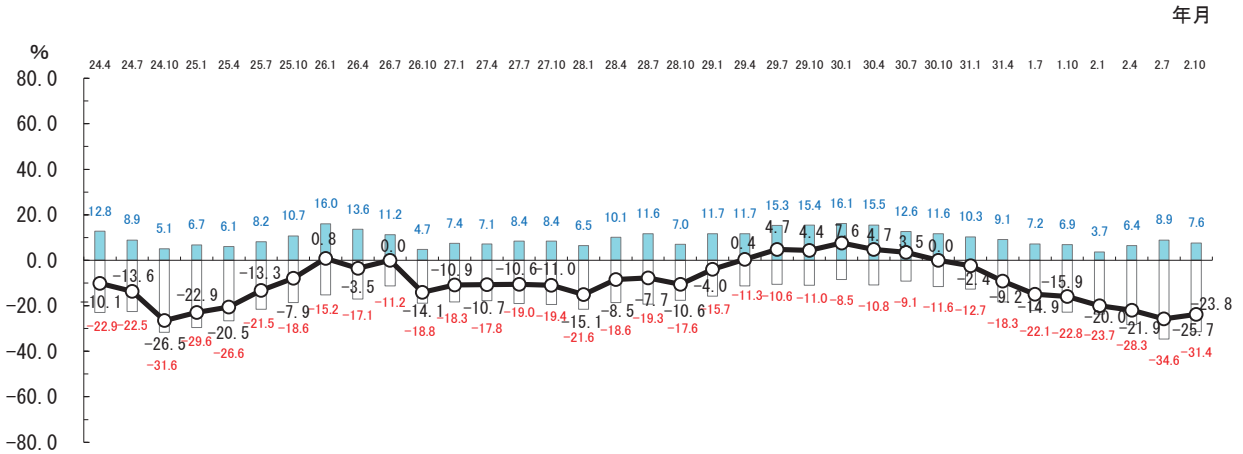
生産量



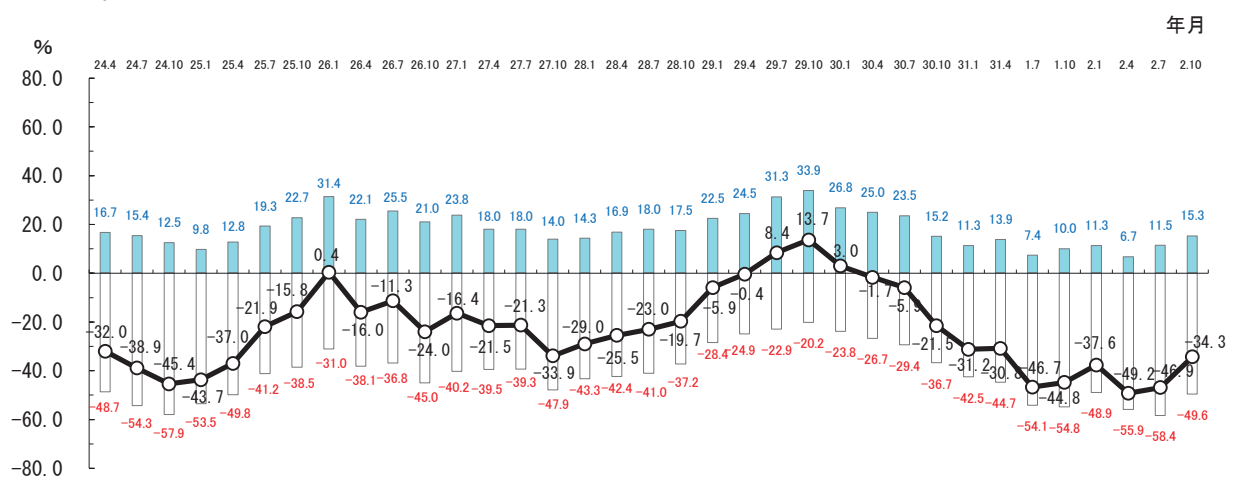
製品販売価格



資金繰り

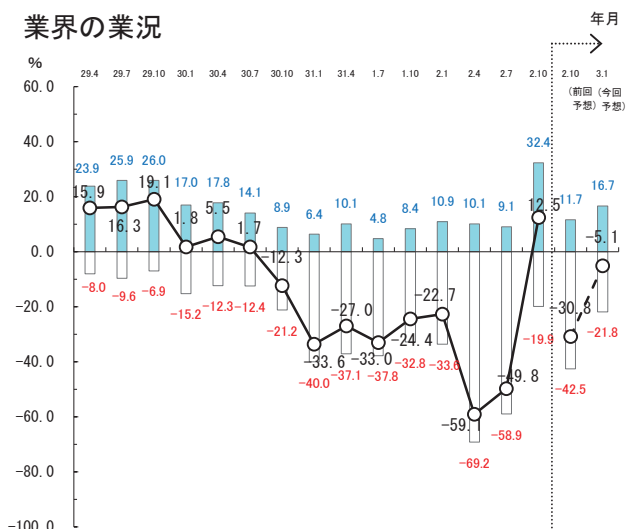


収益率

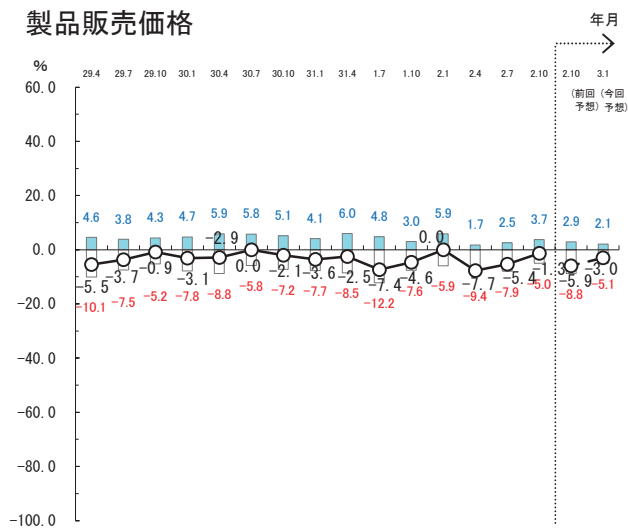


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

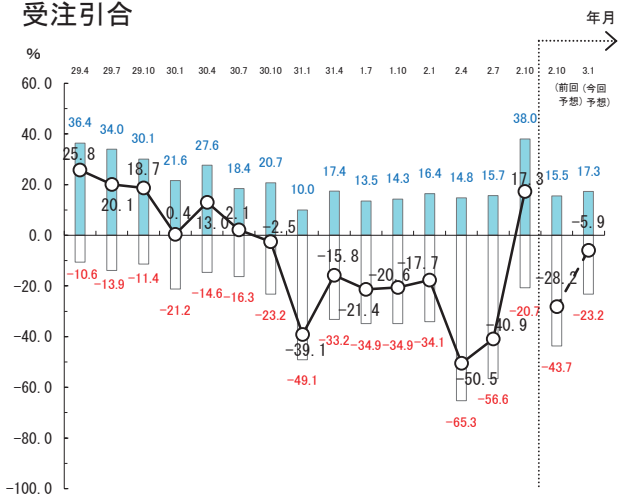
業界の業況



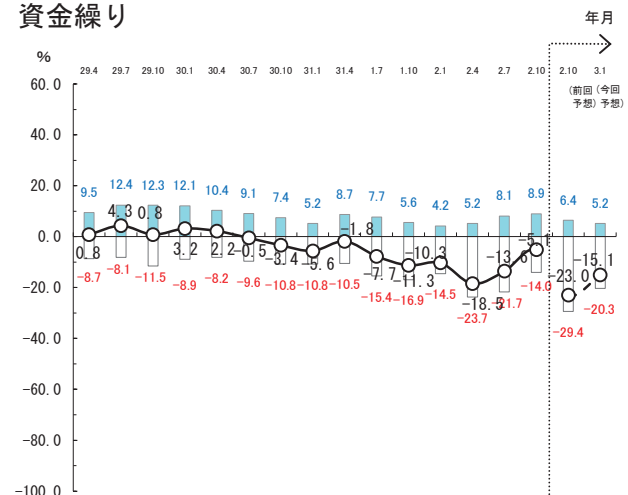
製品販売価格



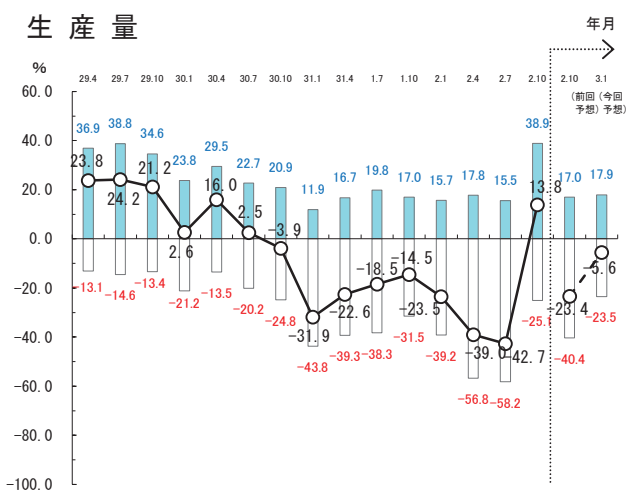
受注引合



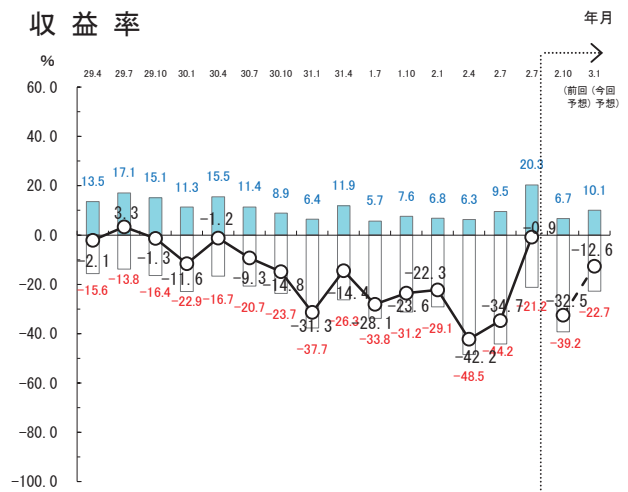
資金繰り



生産量



収益率

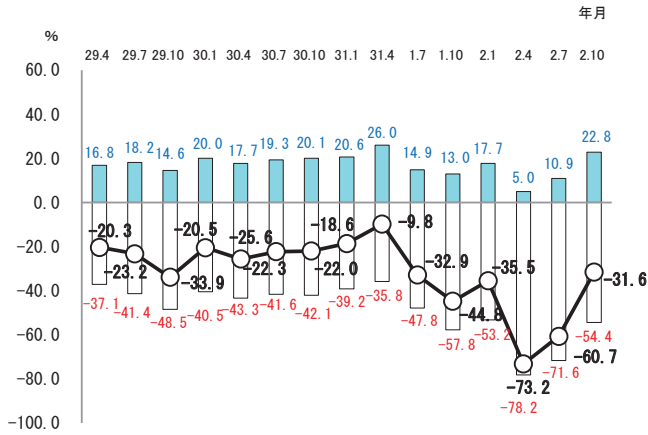


2 非製造業

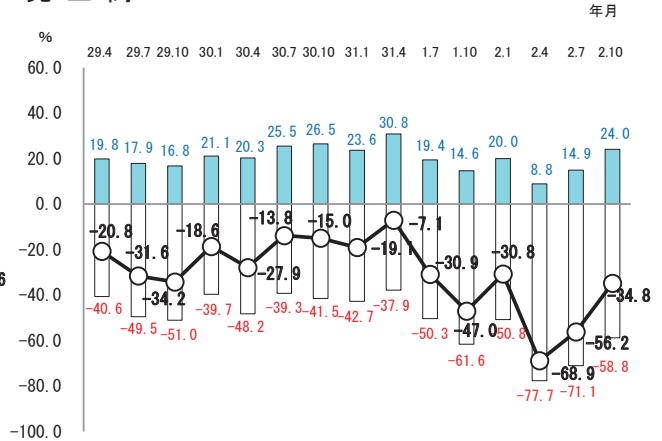
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

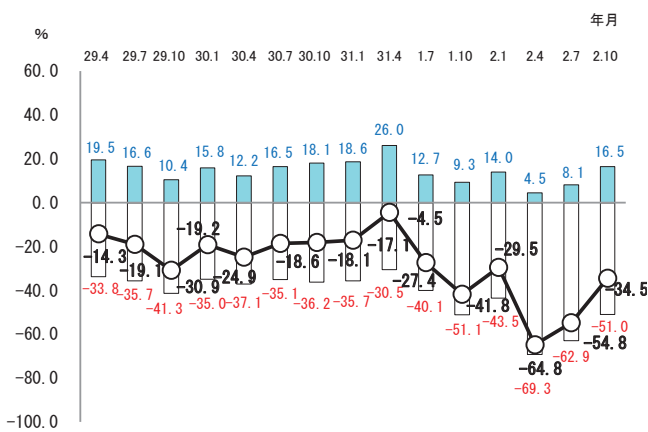
業況



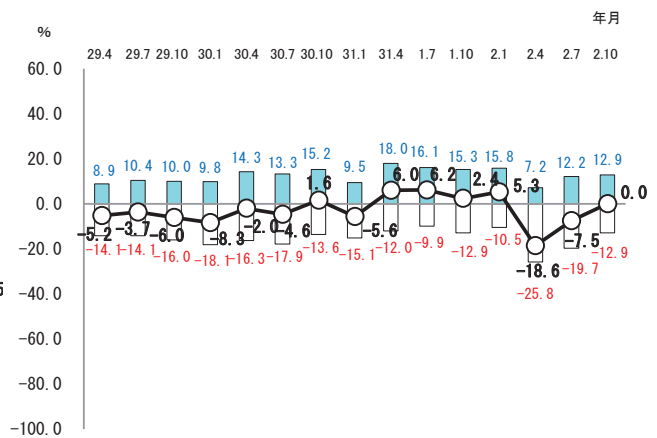
売上高



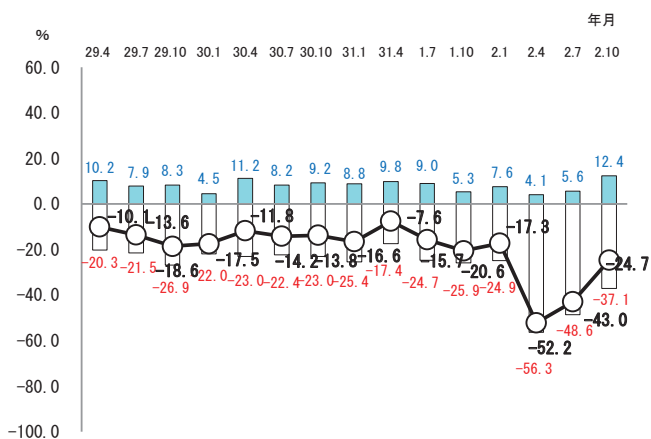
客数 (受注件数・取引先数)



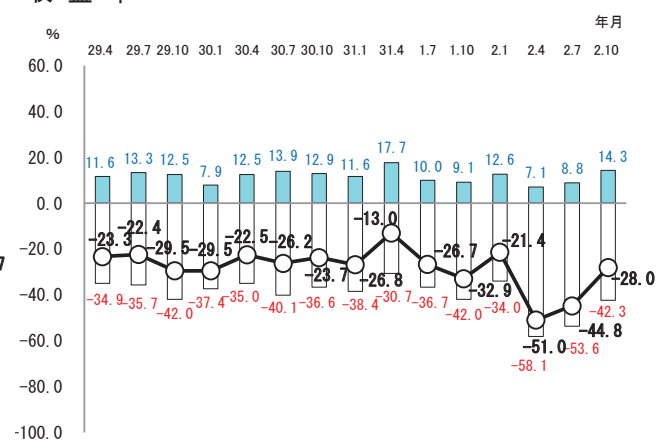
販売価格



資金繰り

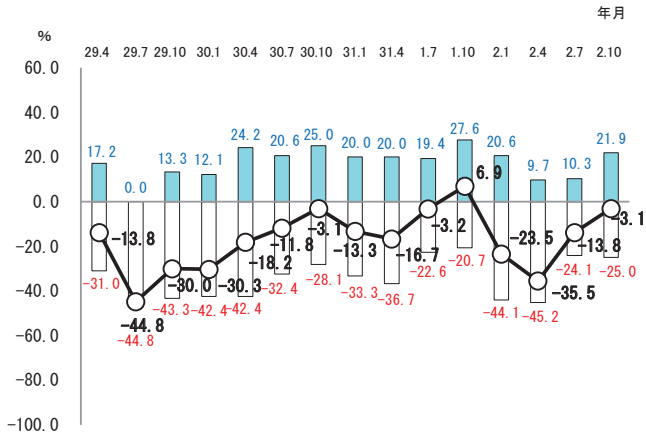


収益率

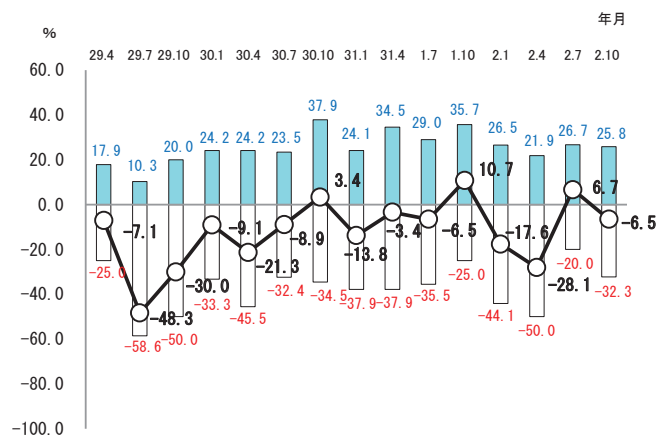


ア 建設業

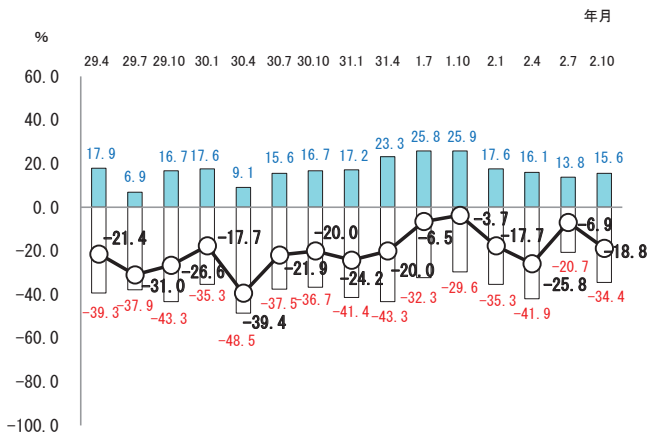
業況



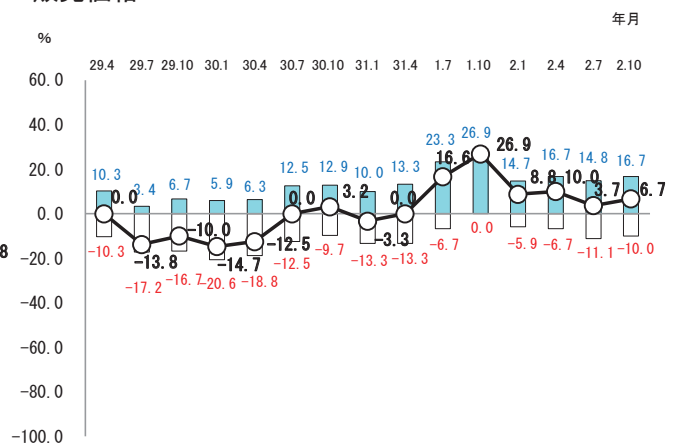
売上高



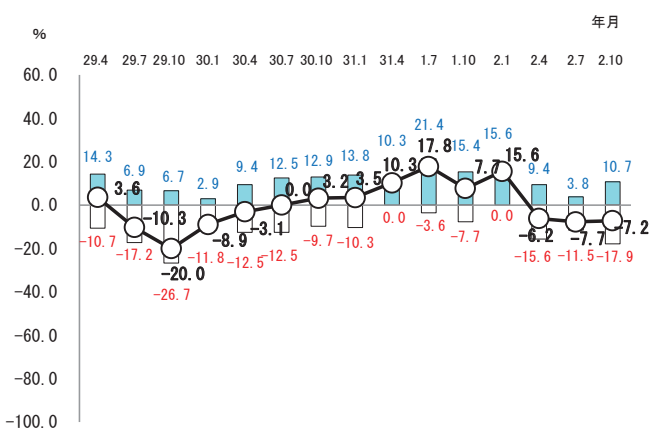
客数 (受注件数)



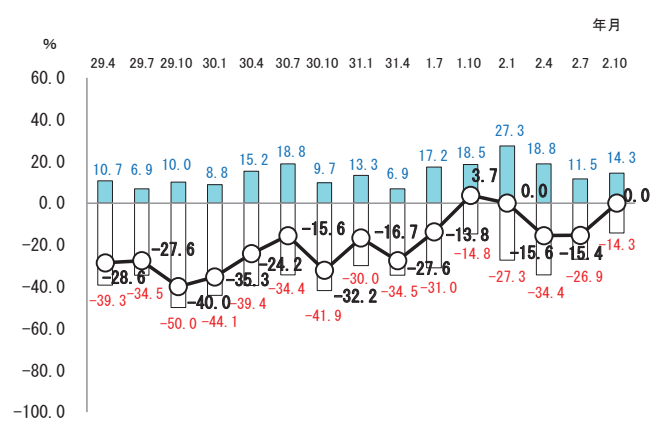
販売価格



資金繰り

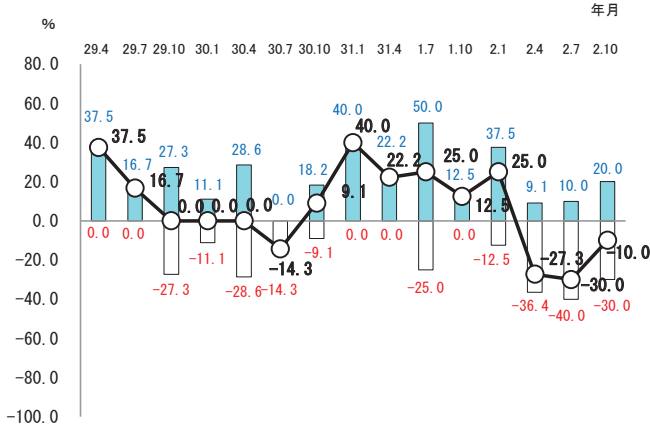


収益率

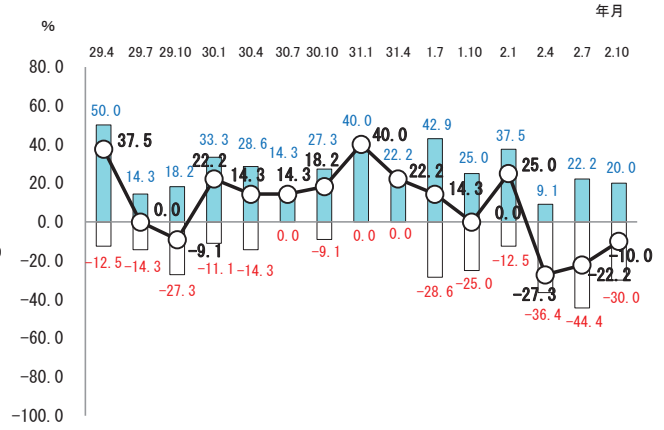


イ 情報サービス業

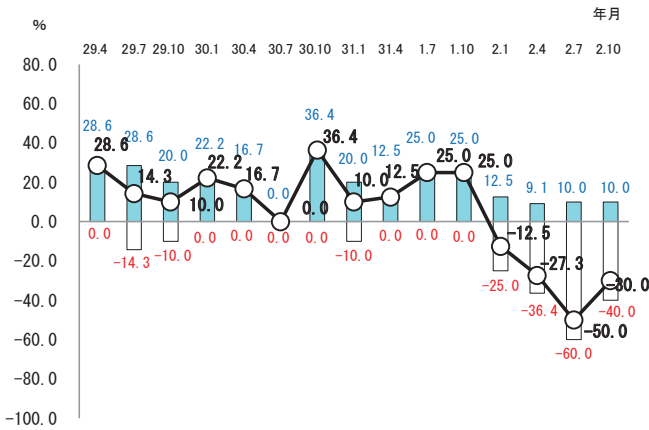
業況



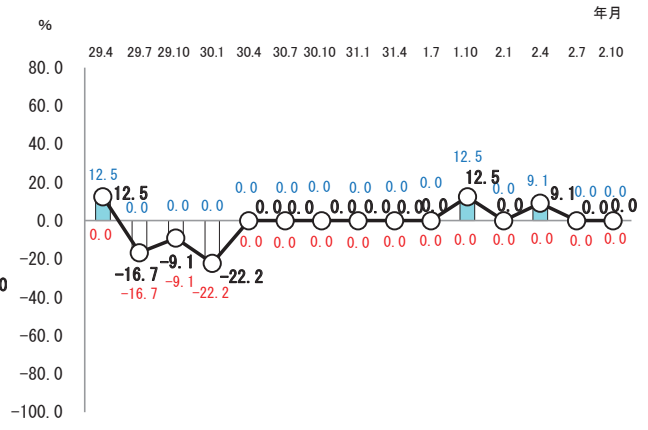
売上高



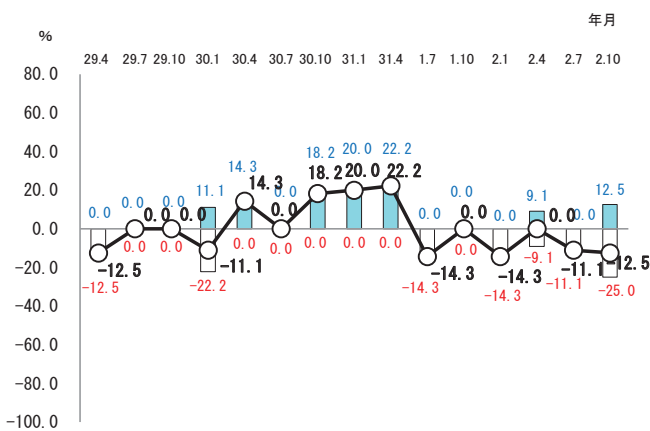
客数 (受注件数)



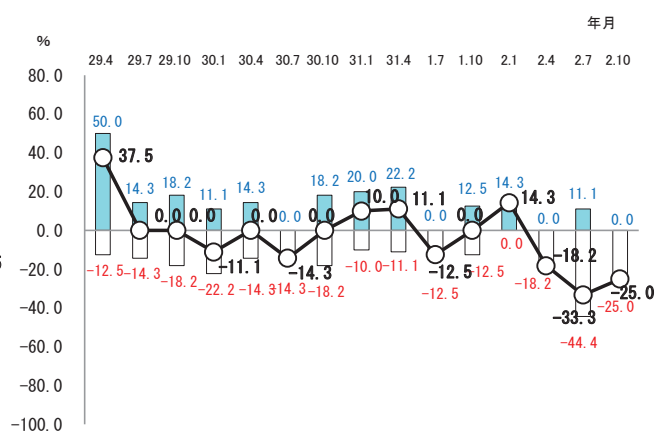
販売価格



資金繰り

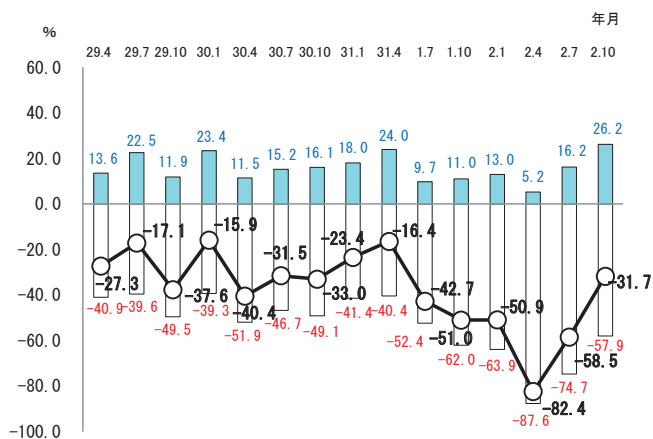


収益率

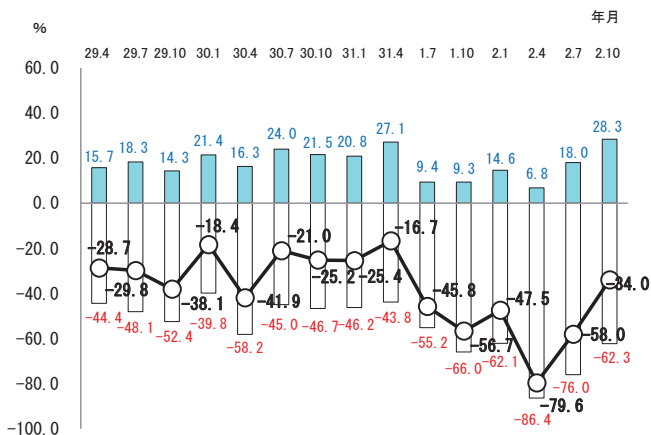


ウ 小売業

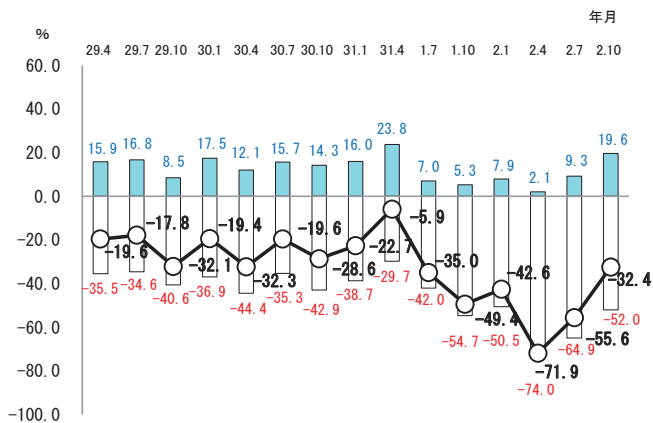
業況



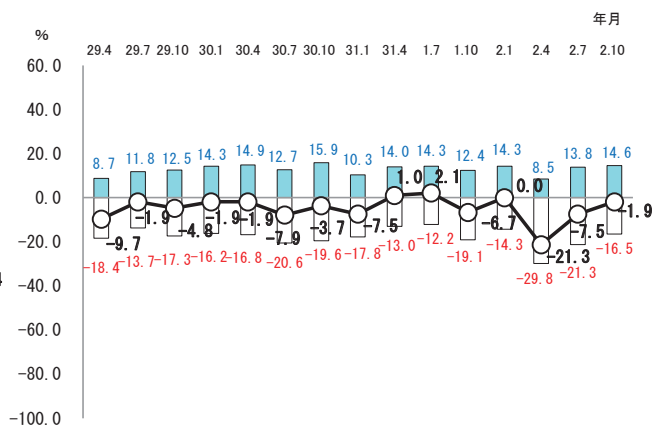
売上高



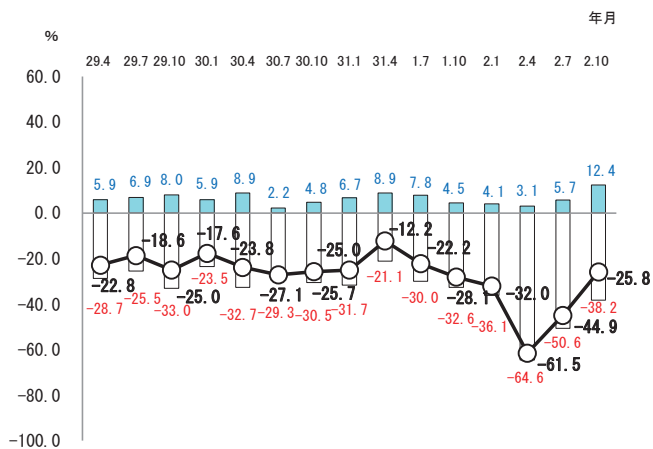
客数



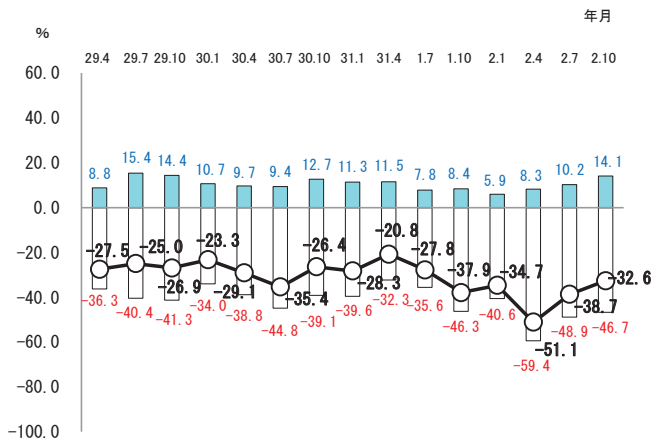
販売価格



資金繰り

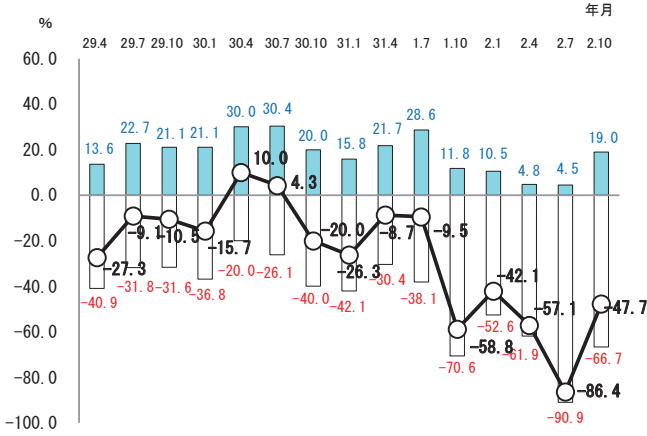


収益率

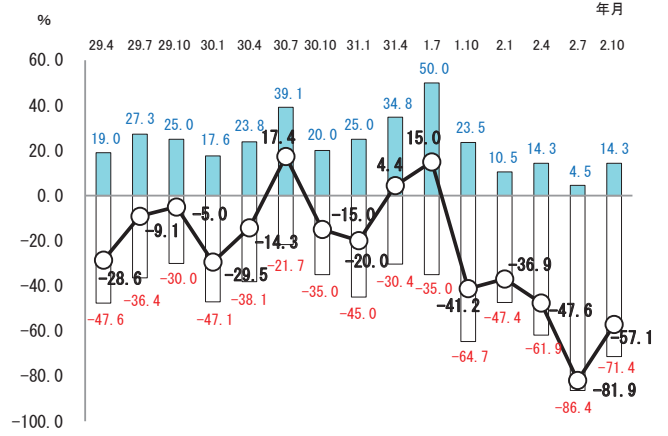


工 卸売業

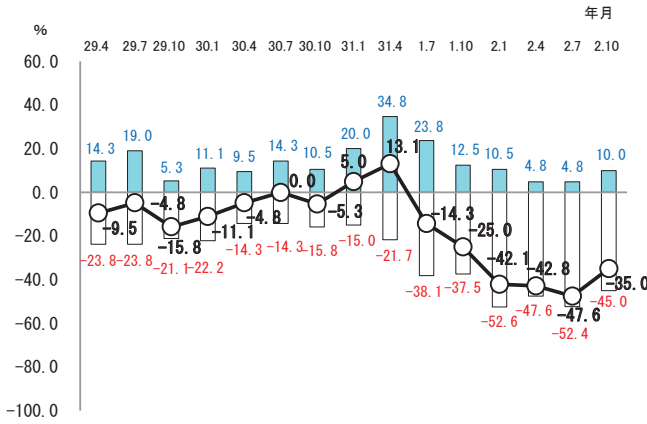
業況



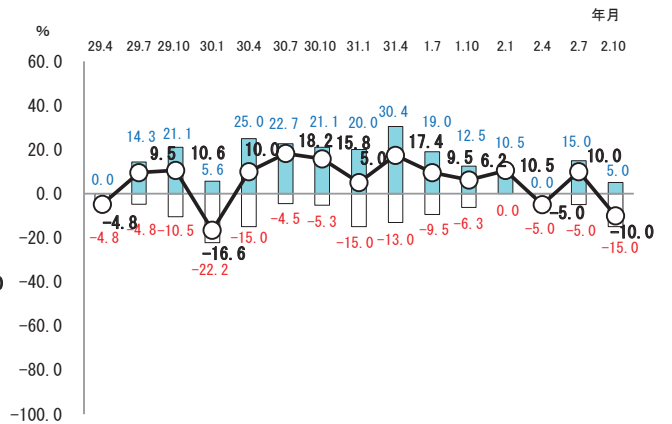
売上高



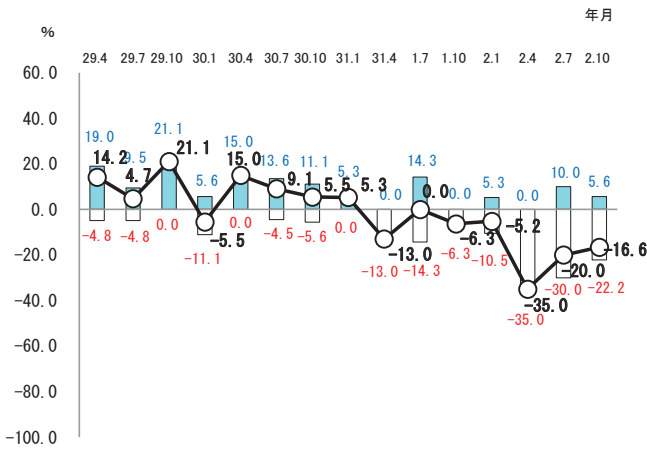
客数 (取引先数)



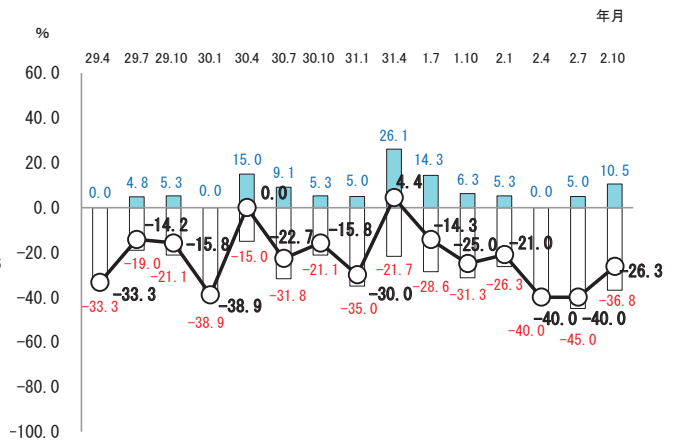
販売価格



資金繰り

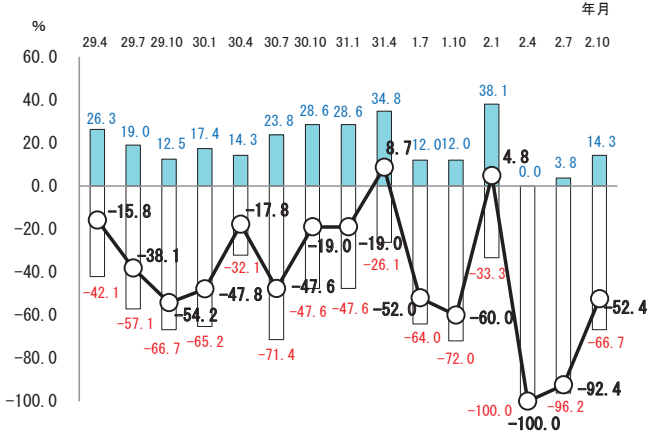


収益率

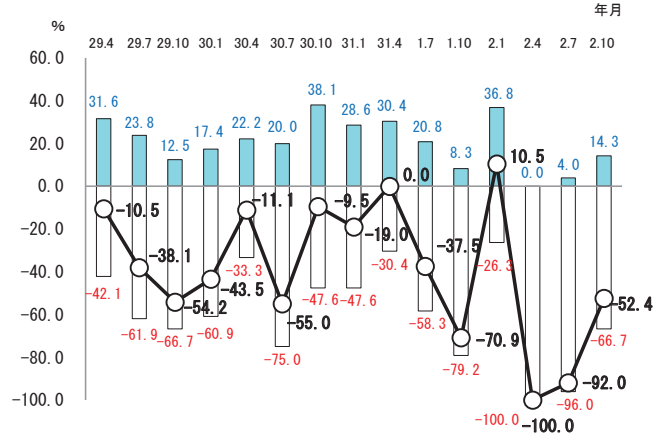


才 飲食業

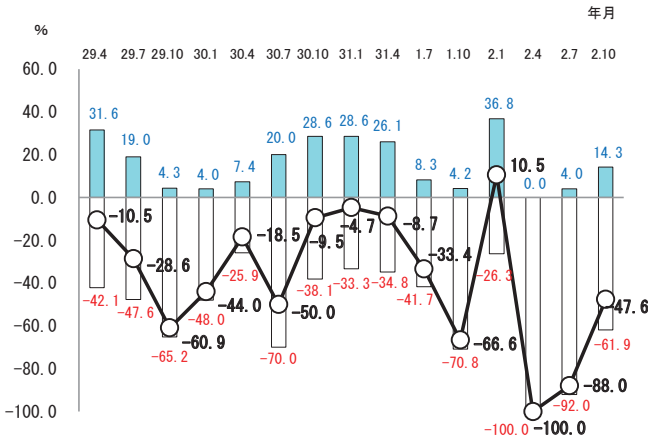
業況



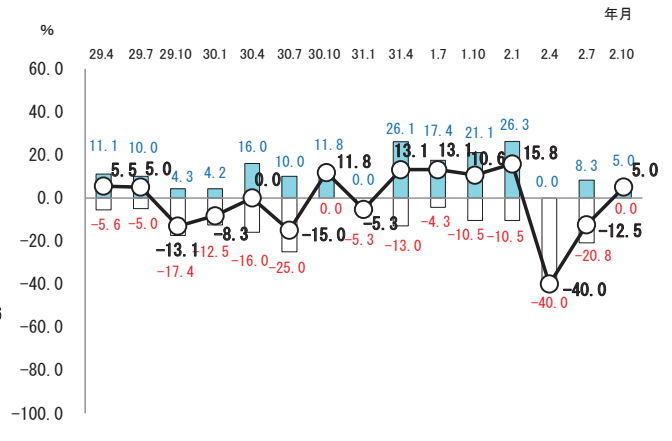
売上高



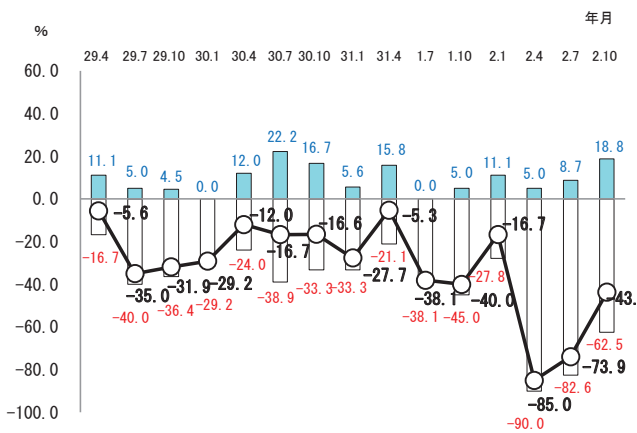
客数



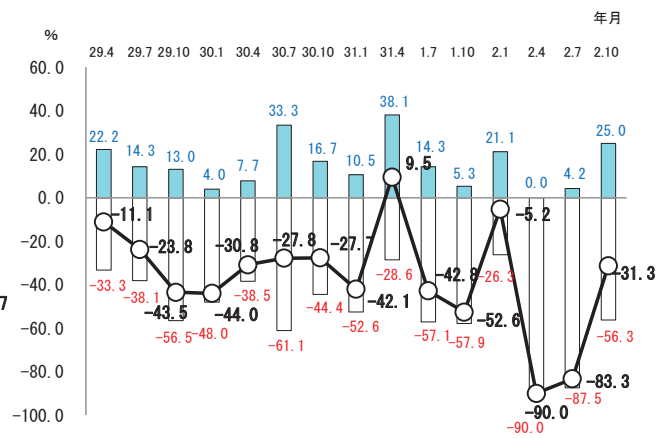
販売価格



資金繰り

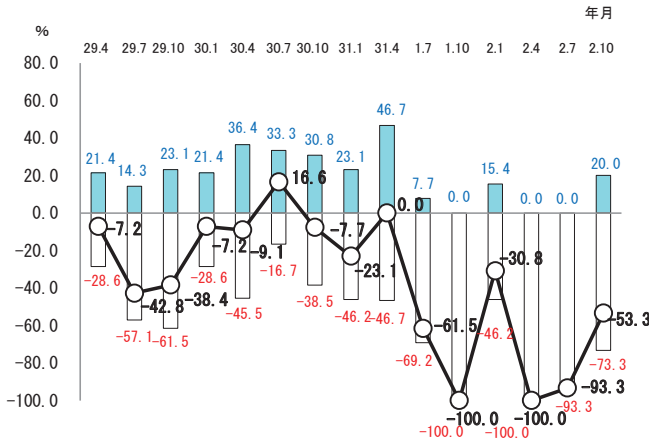


収益率

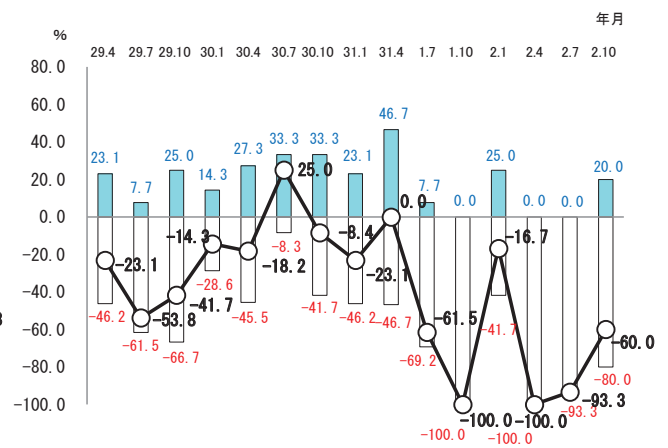


力 宿泊業

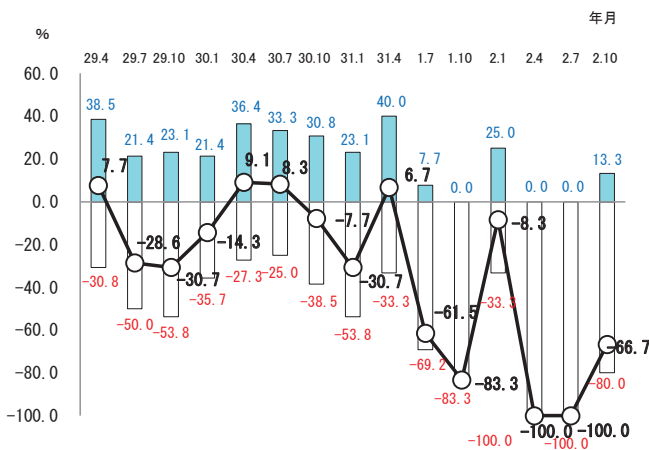
業況



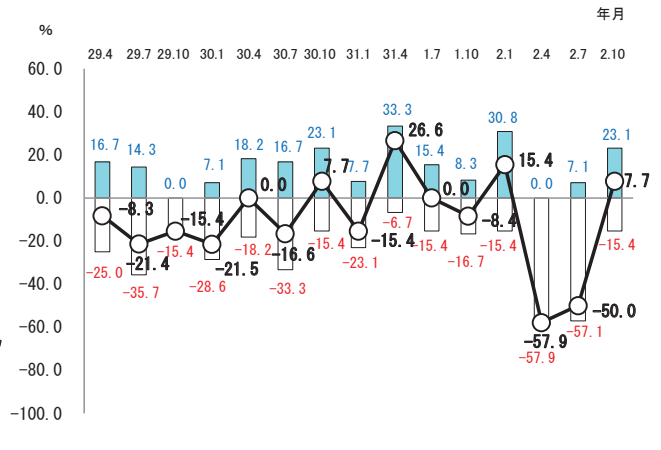
売上高



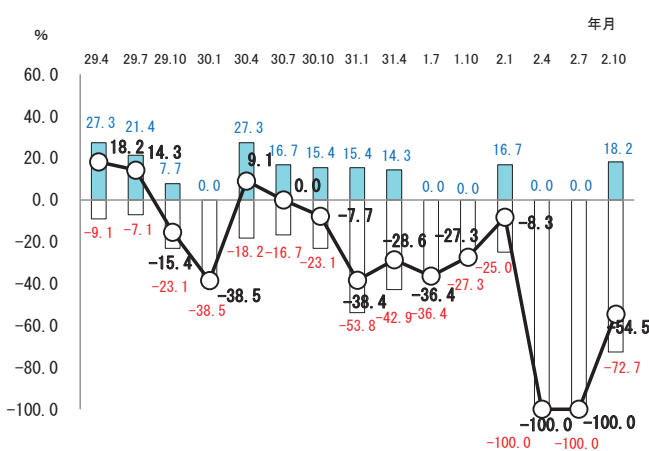
客数



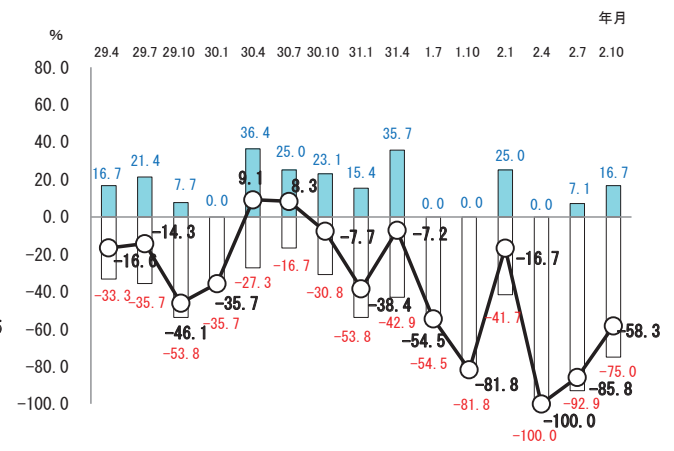
販売価格



資金繰り



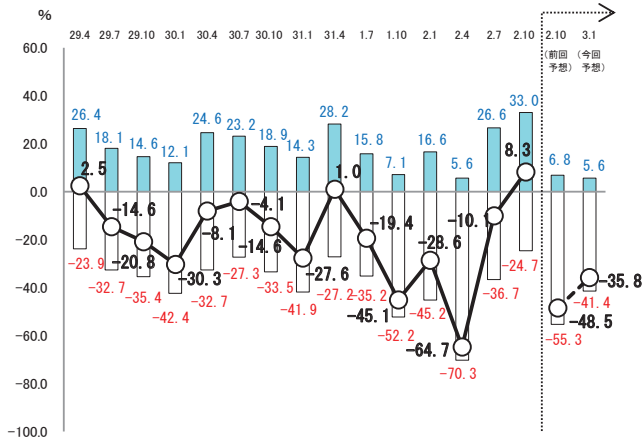
収益率



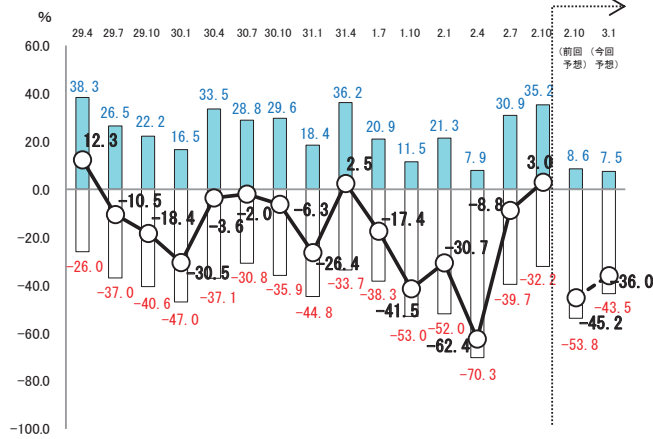
(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

非製造業全体

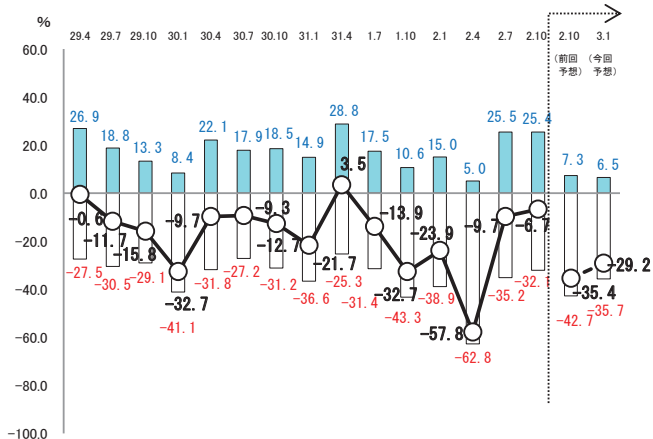
業況



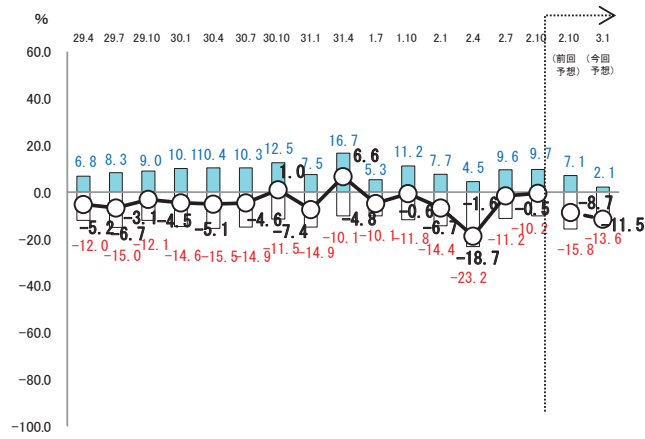
売上高



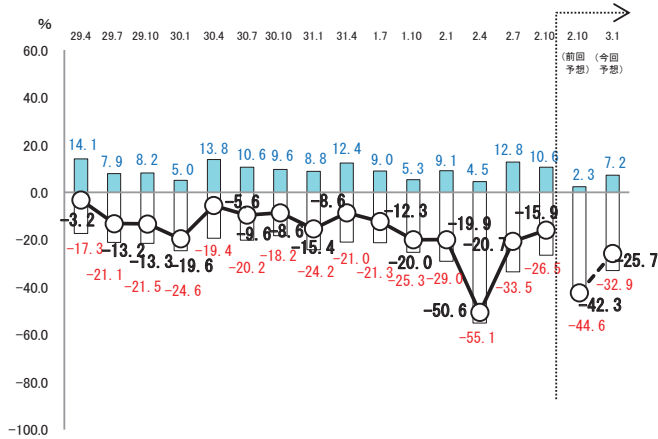
客数 (受件数・取引先数)



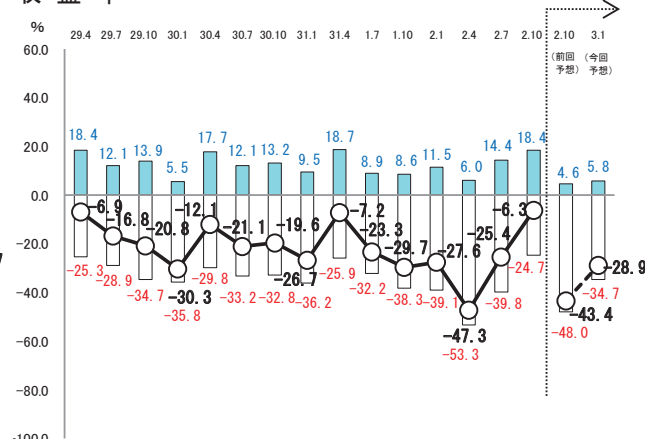
販売価格



資金繰り

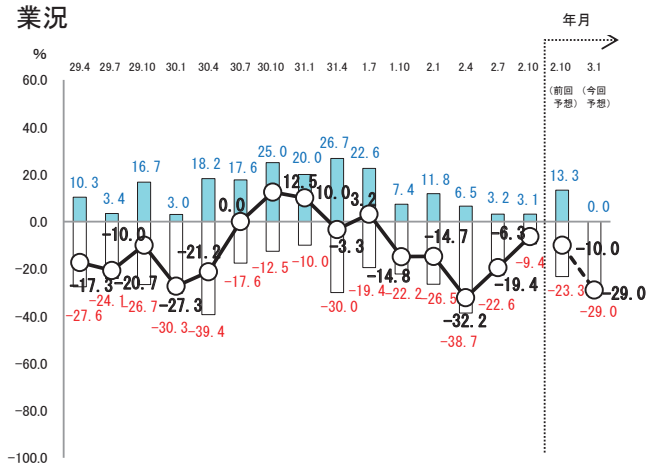


収益率

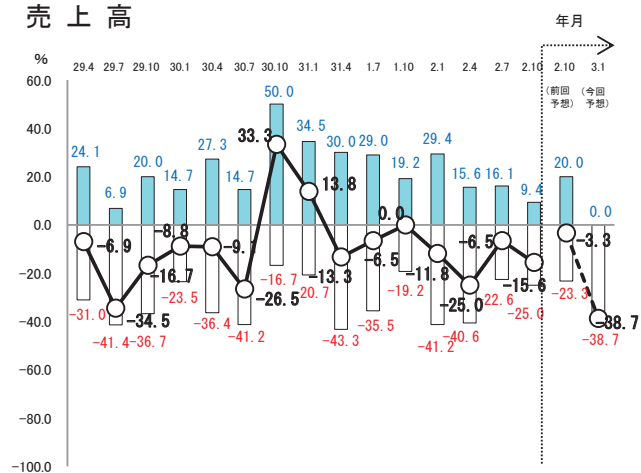


ア 建設業

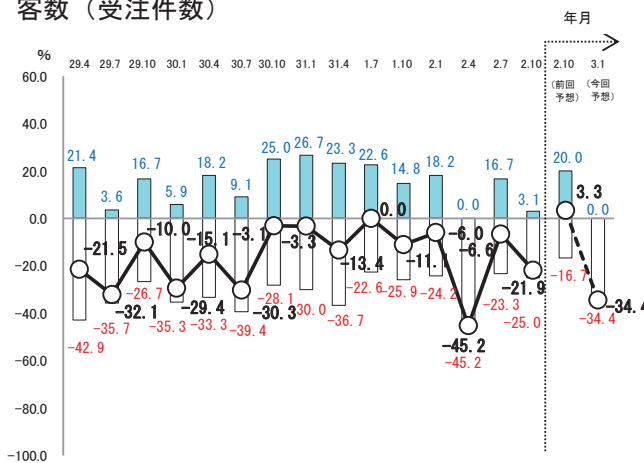
業況



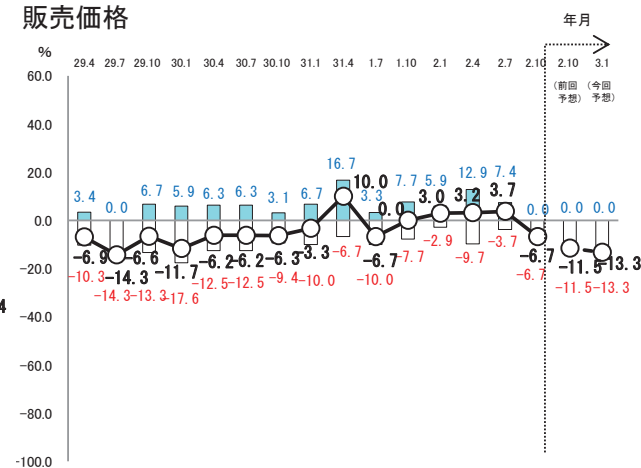
売上高



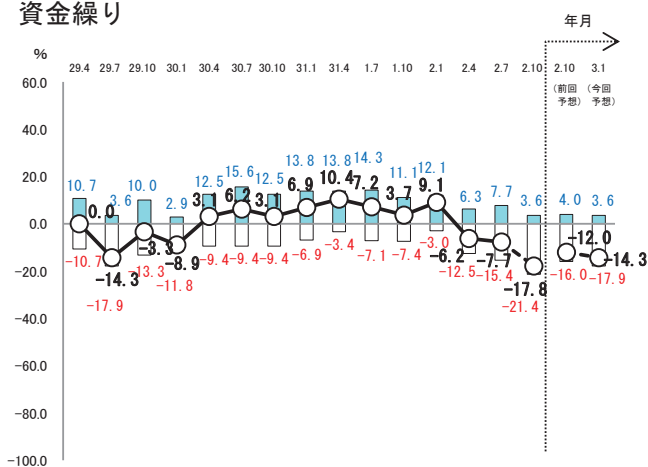
客数 (受件数)



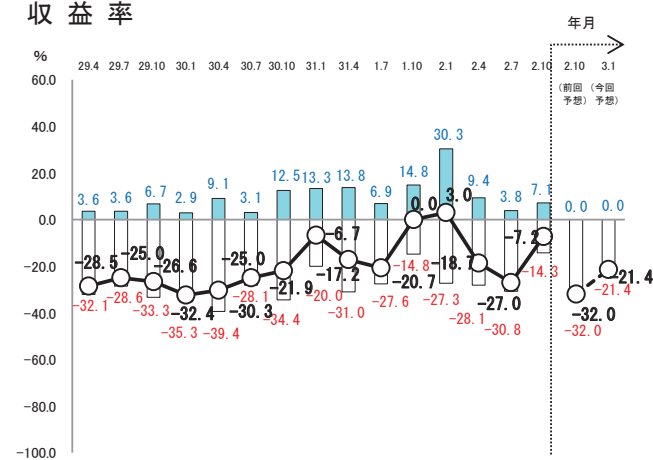
販売価格



資金繰り

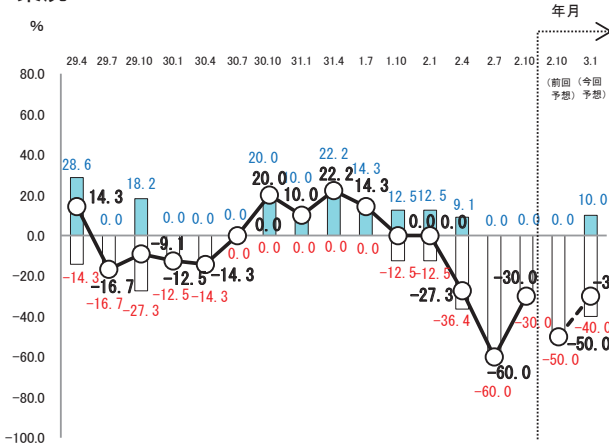


収益率

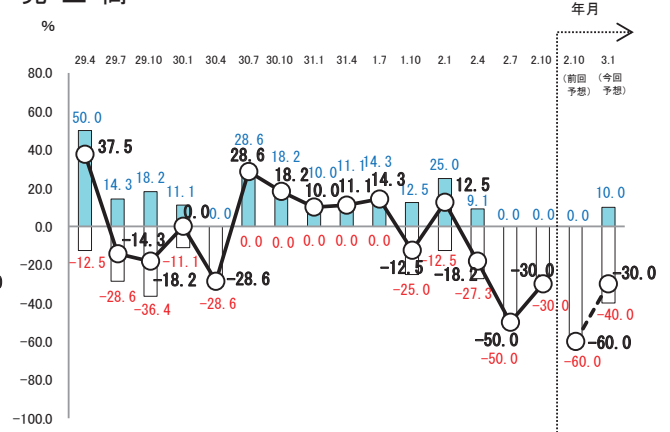


イ 情報サービス業

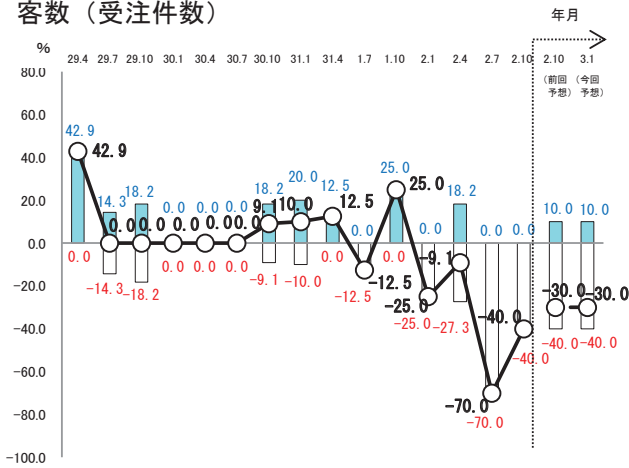
業況



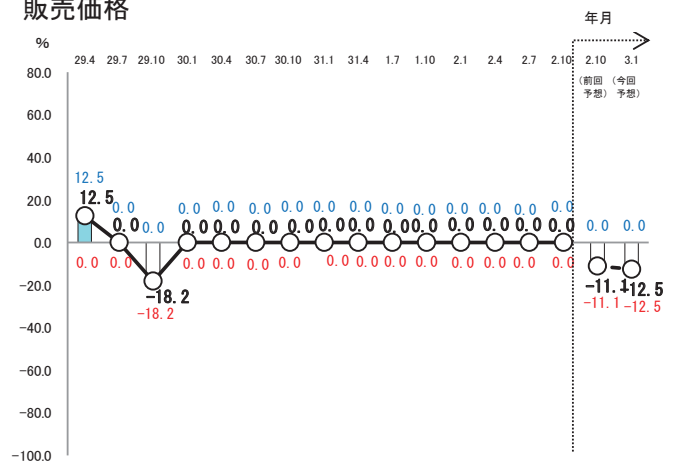
売上高



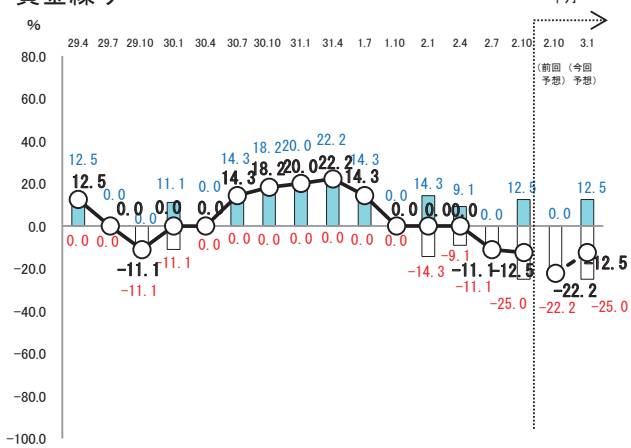
客数 (受件数)



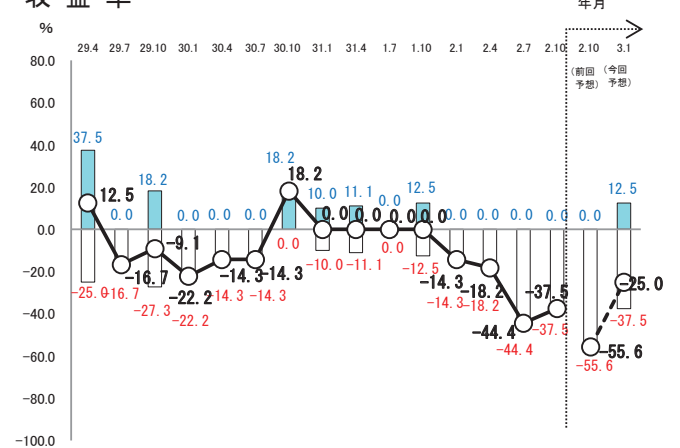
販売価格



資金繰り

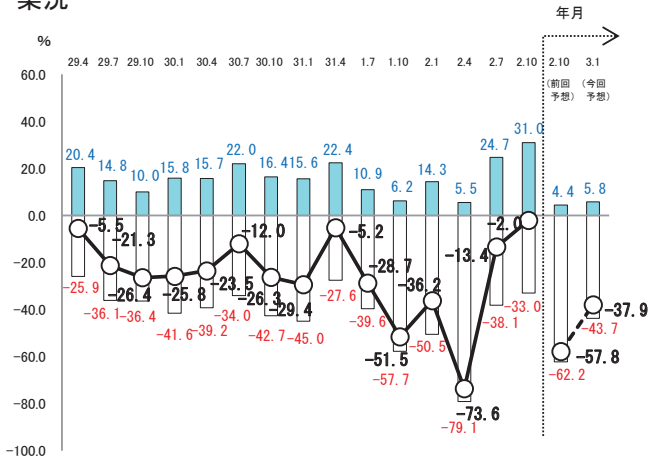


収益率

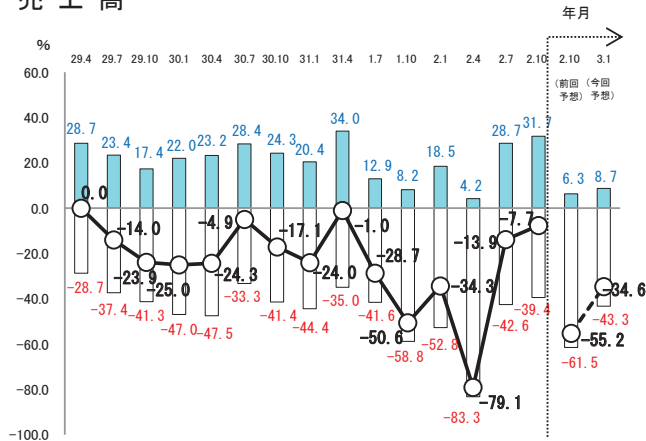


ウ 小売業

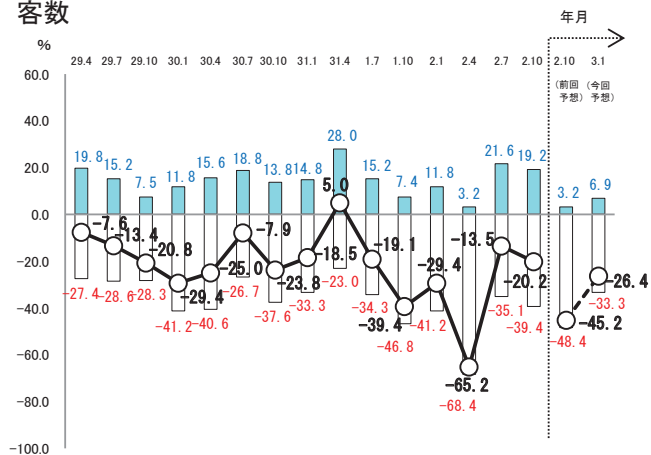
業況



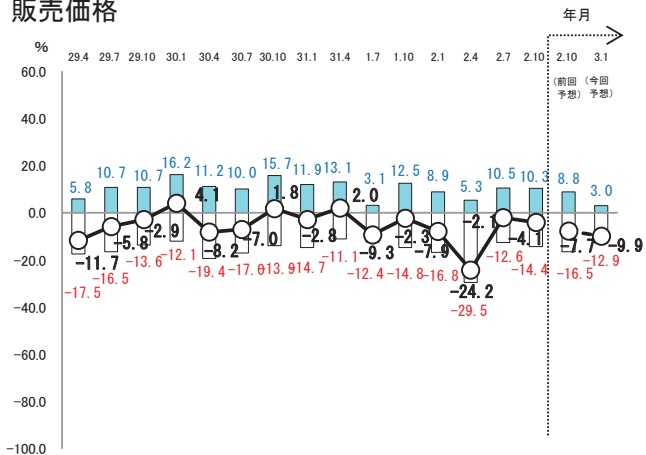
売上高



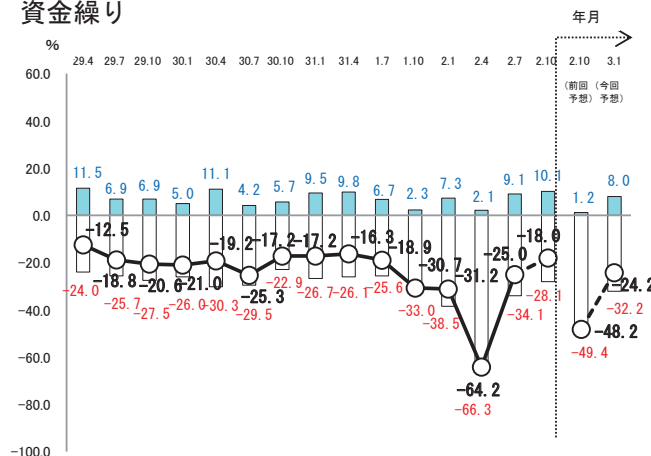
客数



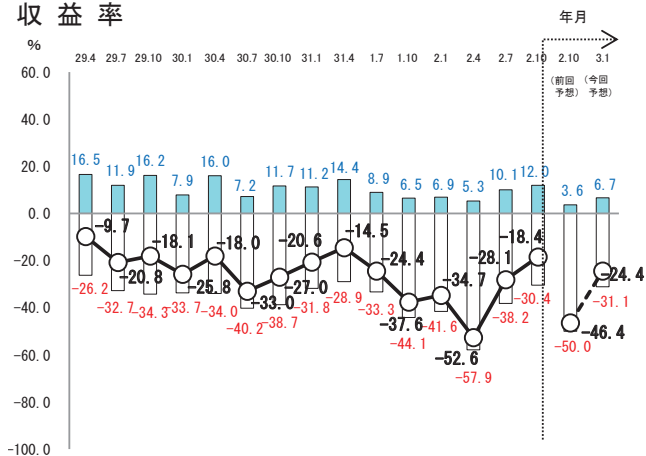
販売価格



資金繰り

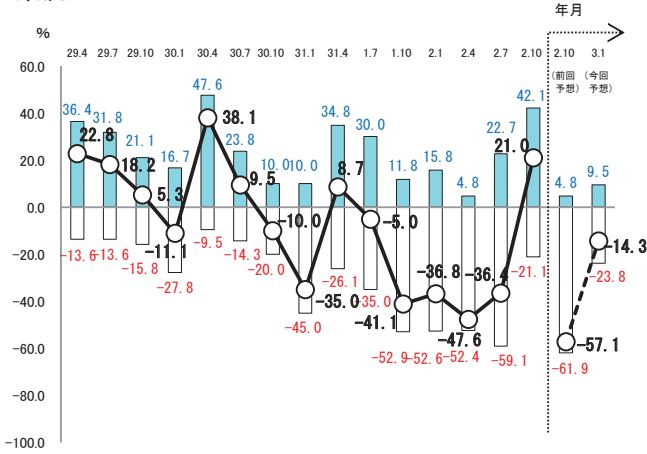


収益率

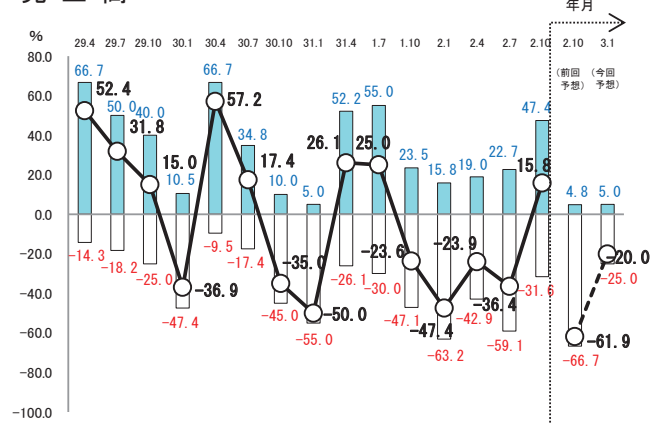


工 卸売業

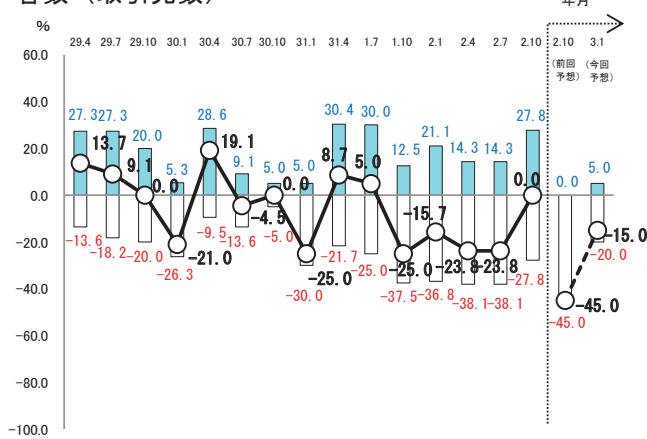
業況



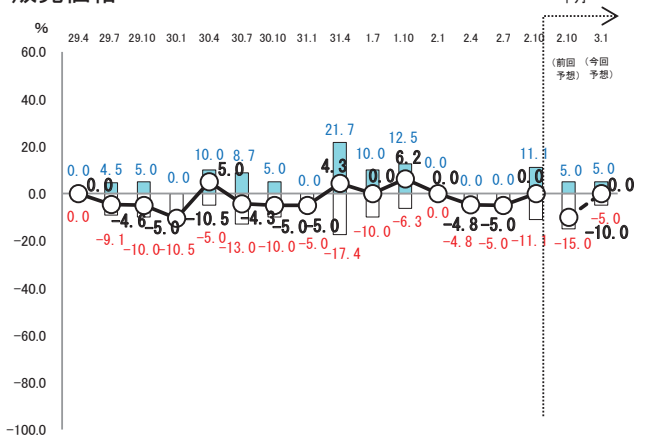
売上高



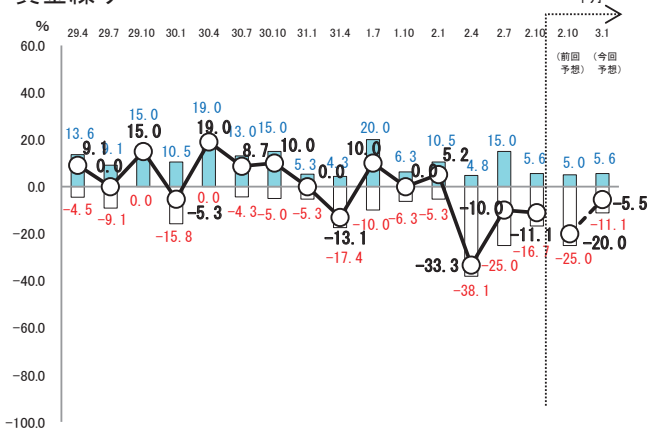
客数 (取引先数)



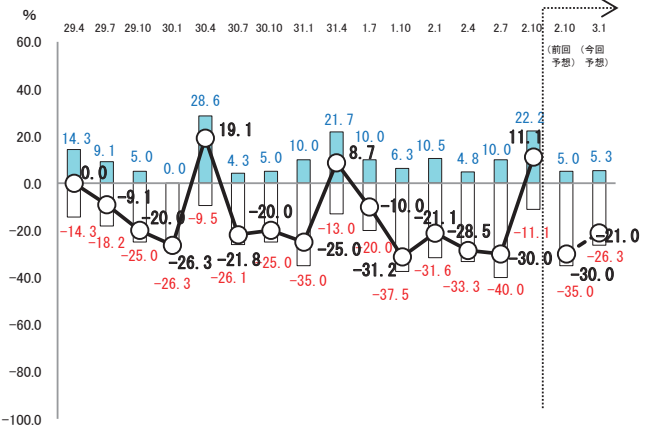
販売価格



資金繰り

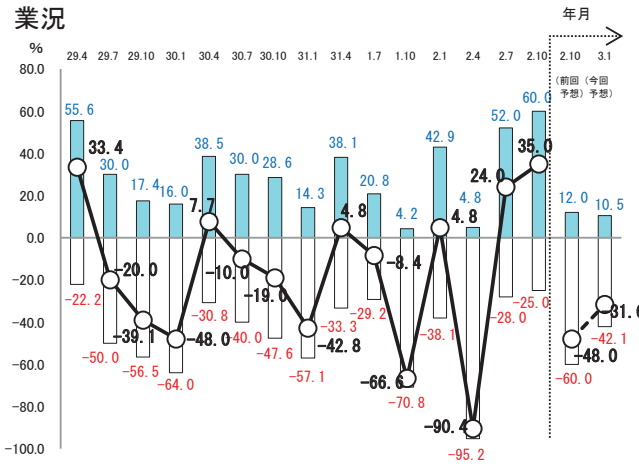


収益率

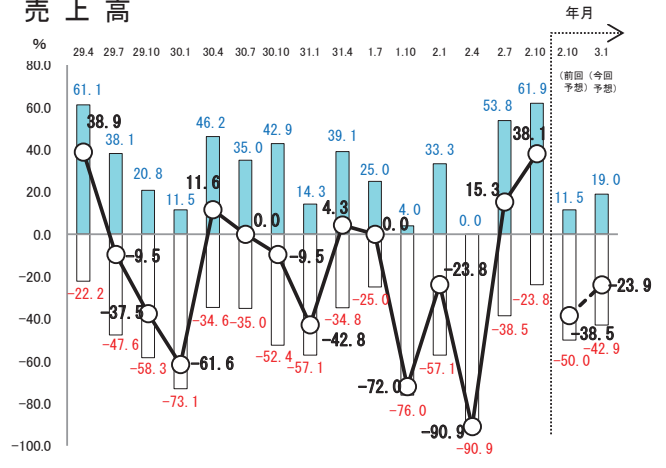


才 飲食業

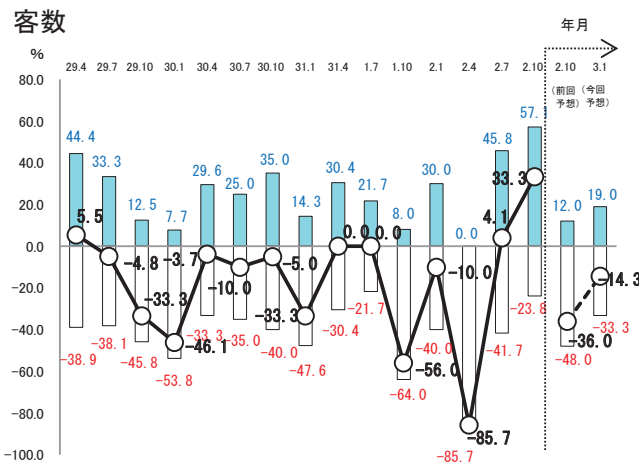
業況



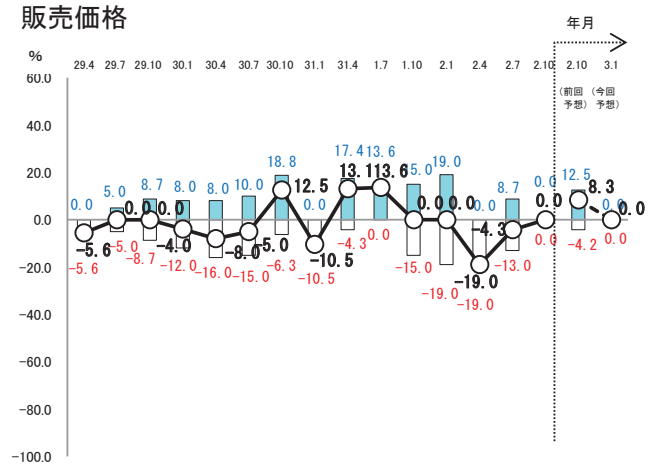
売上高



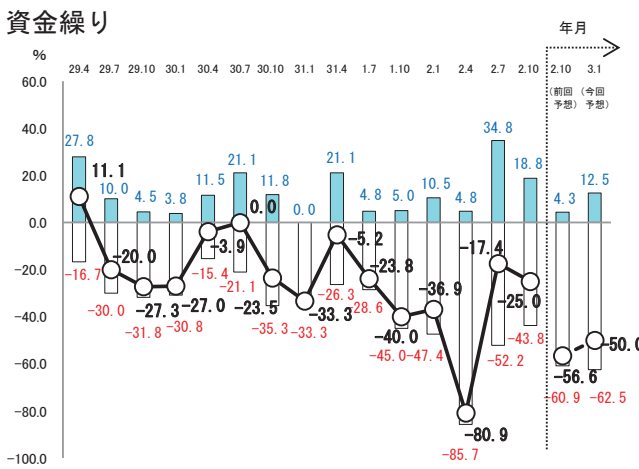
客数



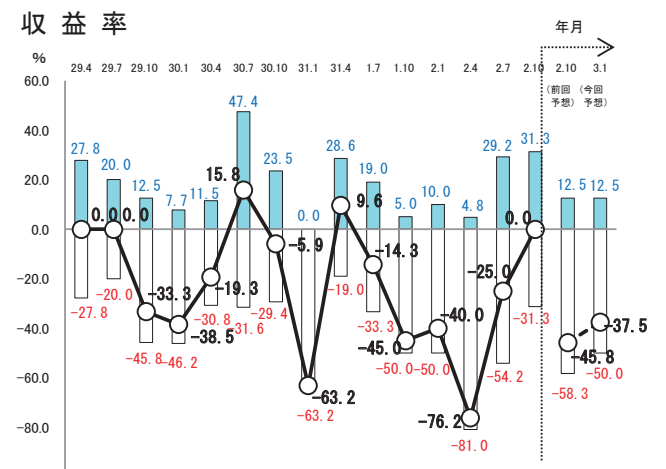
販売価格



資金繰り

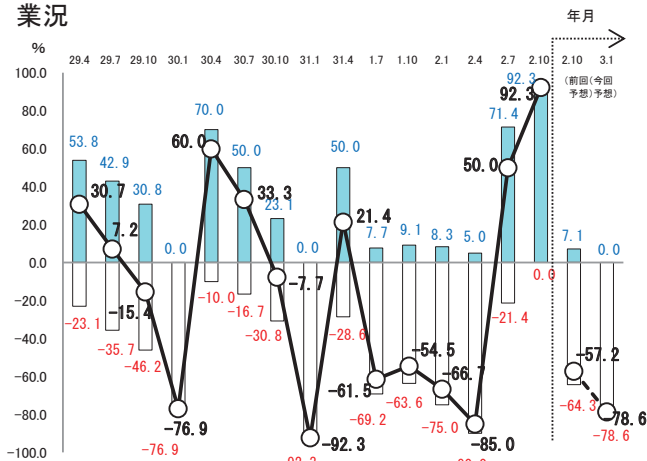


収益率

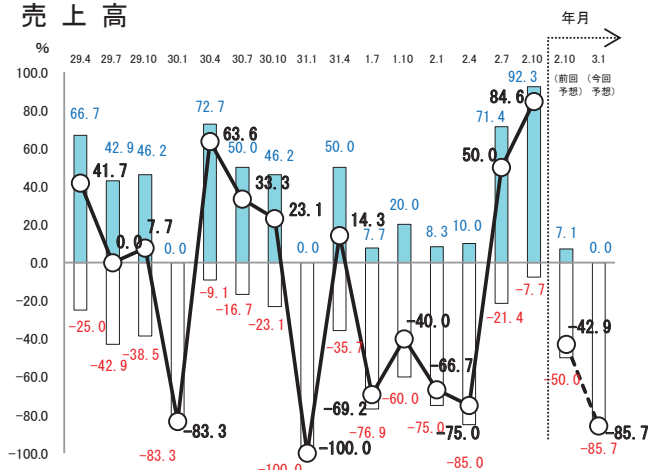


力 宿泊業

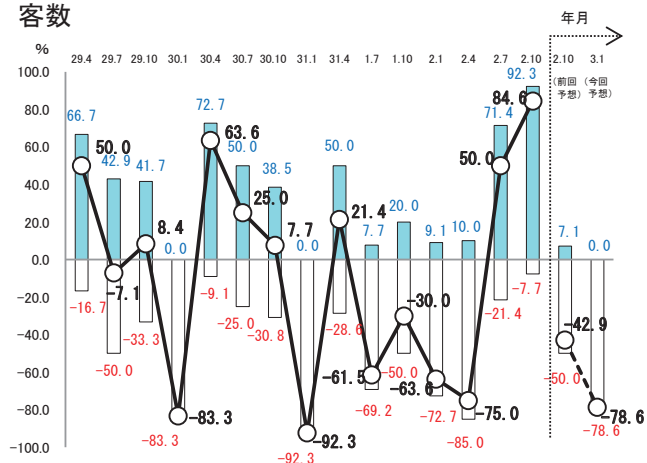
業況



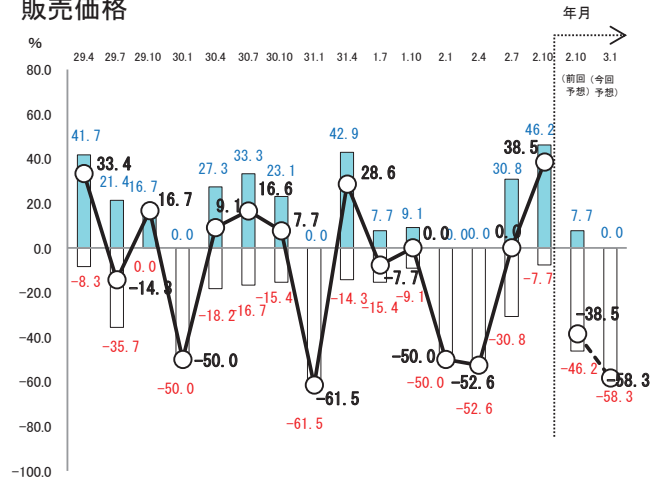
売上高



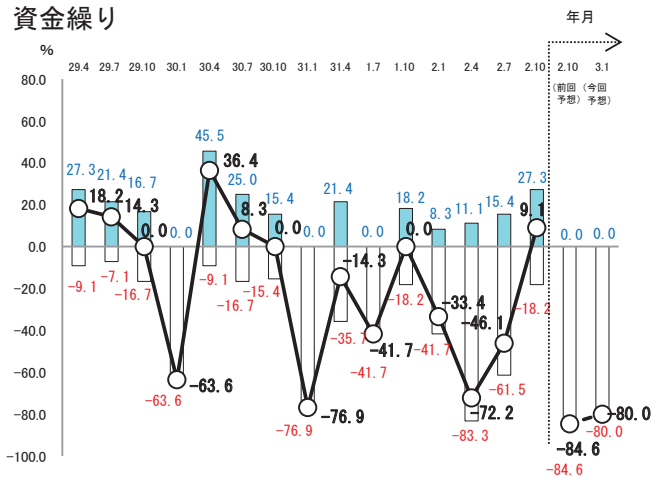
客数



販売価格



資金繰り



収益率

